令和４年１０月１９日

出雲市議会議長　様

会　派　名　真　誠　ク　ラ　ブ

代表者氏名　川　上　幸　博

（署名又は記名押印）

視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

１．日　　程	令和４年１０月５日　～令和４年１０月７日（３日間）	
２．視察研修先 視察研修目的	総務省自治財政局	公共施設の集約、再整備について
	総務省自治行政局	ローカル 10,000 プロジェクトについて
	みずほ銀行デジタルイノベーション部	J-Coin　Pay による電子地域通貨について
	第 49 回国際福祉機器展	福祉機器の最新情報について
	新潟館ネスパス	特産品等の情報発信について
	日比谷しまね館	〃
	とっとり・おかやま新橋館	〃
３．参　加　者	萬代輝正議長、伊藤繁満副議長、板垣成二議員、寺本淳一議員、今岡真治議員、高橋扶治夫議員、福田実議員、児玉俊雄議員 計８名 ※参加予定だった川上幸博議員につきましては、出発日に発熱の症状があり、新型コロナウィルス感染症罹患の疑いもあったため急遽参加を取りやめました。	

出雲市議会
04.10.19
第 352 号
受付

4．添　付　書　類	1．行程表 2．報告書

（所　感）

① 公共施設の集約、再整備について

総務省自治財政局財務調査課課長補佐黒田洋介氏から「公共施設マネジメントの最新動向」と題して、公共施設の適正管理及び地方公会計の推進について話を聞いた。

公共施設等総合管理計画の推進体制や公共施設等適正管理推進事業債などについて詳しい説明があった。また、指定管理制度にも触れられたが、現在、本市議会の総務委員会でも議論されているように、地方都市においてはこの制度が十分機能しているとは思えない。

その点について質問したが、制度の見直しの検討などの情報は得られなかった。ただ、研修に同席されていた三浦靖参議院議員も地方都市における制度の問題点は認識されているようだったので、今後、制度改正について国会内でも議論が深まることを期待したい。

② ローカル10,000プロジェクトについて

総務省地域力創造グループ地域政策課理事官関口龍海氏からローカル 10,000 プロジェクト（地域経済循環創造事業交付金）の制度概要や状況について説明を受けた。

これは産学金官の連携により、地域の資源と資金を活用して、雇用吸収力の大きい地域密着型事業の立ち上げを支援する事業で１０年前から実施されているとのことであった。ローカル 10,000 は 10,000 事業を目指すという目標数値のようであるが、これまでの実績は 440 事業に止まっている。

このプロジェクトの重点支援事業はデジタル技術の活用とローカル脱炭素の推進であり、飯塚市政の重点施策とも合致することから視察議員の関心が高く、本市への事業導入の声もあがっていた。

③ J-Coin Pay について

みずほ銀行決済ビジネス推進部調査役往蔵亮太氏、デジタルイノベーション部次長多治見和彦氏、デジタルストラテジスト戸谷佐千夫氏から地域通貨の現状や決済 DX の取組みについて説明を受けた。

みずほ銀行が運用している J-Coin Pay は、本市の中小・小規模企業振興計画推進事業により支援を受けている出雲商工会議所の有志によるキャッシュレス決済アプリを利用した実証実験のアプリに選ばれたものであり、県内では川本町で運用されている。

J-Coin Pay は本市がキャッシュレスポイント還元消費喚起事業で採用した PayPay のシステムと異なり、市民のみにポイントを還元して、そのポイント利用を市内店舗のみに限定することも可能であることから今後さらに調査研究する必要があると感じた。

④ 第 49 回国際福祉機器展について

東京ビッグサイトで開催された国際福祉機器展を視察した。この展示会はハンドメイドの自助具から最先端技術を活用した介護ロボット・福祉車両まで世界の福祉機器を一堂に集めたアジア最大規模のものであり、たいへん興味深く視察できた。

障害をお持ちの方も多数来場されており、いろいろな機器を体験しながらスタッフの方と会話されている姿が印象的だった。

⑤ アンテナショップにおける特産品等の情報発信について

「表参道・新潟館ネスパス」

田中真佐彦館長から施設の概要などについて説明を受けた。

ネスパスは 1000 ㎡を超す一戸建ての施設で入館者数、売上高ともに都内で５本の指に入る人気のアンテナショップである。今回は佐渡のトキがアンテナショップでどのように扱われているのかということを聞きたくて訪問したが、近年はトキ米などの商品も入荷がなく、トキ関連のイベントも実施されていないということであった。

「日比谷しまね館」

田中律子館長から施設の概要などについて説明を受けた。

しまね館は日比谷シャンテの地下１階の売り場の一角にあるため入館者のカウントはできていないが、昨年度のレジ客は 69,000 人、売上は１億３０００万円とのことで、コロナ禍の影響もあり、たいへん苦戦しているようである。

令和２年に日本橋から移転したが、日本橋の客層は年配の方が多く、日比谷は若い女性客が多いことから客単価が伸びず売上が相当落ち込んだとの説明があった。

館内にはイベントスペースもあるので、県内市町村の積極的な活用をお願いしたいとの依頼があった。

「とっとり・おかやま新橋館 」

岡山県東京事務所営業課主幹内田彰彦氏から施設の概要などについて説明を受けた。

１日の入館者は１０００人程度とのことであったが、２県の共同設置のため品揃えが豊富で、開館時から賑わっていた。

令和４年 ９ 月３０日

出雲市議会議長　様

会 派 名　真誠クラブ

代表者氏名　川上幸博

（署名又は記名押印）

視察研修について（届）

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

１．日　　程	令和４年１０月５日　～　令和４年１０月７日（３日間）	
２．視察研修先及び視察研修目的	総務省	公共施設の集約、再整備について
	総務省	ローカル１０，０００プロジェクトについて
	みずほ銀行・デジタルイノベーション部	J-Coin　Pay による電子地域通貨について
	新潟館ネスパス	特産品等の情報発信について
	鳥取・岡山新橋館	〃
	日比谷しまね館	〃
３．参加者	萬代輝正議長、伊藤繁満副議長、川上幸博議員、板垣成二議員、寺本淳一議員、今岡真治議員、高橋扶治夫議員、福田実議員、児玉俊雄議員 計　９名	
４．添付書類	行程表（別紙）	

出雲市議会
04.9.30
第308号
受付

真誠クラブ行政視察行程表

10月5日（水）		
8:50	集合）出雲空港	
9:25	空路）出雲空港⇒羽田空港（10：45着）	
	移動）羽田空港⇒衆議院第二議員会館	*1時間程度*
	昼食）衆議院第二議員会館	
13:30	研修）総務省・公共施設の集約、再整備について	会議室1215
14:30	研修）総務省・「ローカル10,000プロジェクト」ついて	〃
16:00	ホテルチェックイン	
16:25	空路）出雲空港⇒羽田空港（17：45着）	伊藤副議長、板垣議員
	移動）羽田空港⇒ホテル	〃
18:30	懇談会）赤坂　津つ井	03-3584-1851
	宿泊）赤坂エクセルホテル東急	03-3580-2311
10月6日（木）		
10:00	移動）ホテル⇒表参道	*10分程度*
10:30	視察・昼食）表参道　新潟館ネスパス	
	移動）表参道⇒虎ノ門	*15分程度*
12:00	研修）みずほ銀行・J-Coin　Payについて	ﾃﾞｼﾞﾀﾙｲﾉﾍﾞｰｼｮﾝ部
13:00	昼食）虎ノ門周辺	
13:40	移動）虎ノ門⇒有明	*45分程度*
14:30	視察）第49回国際福祉機器展	有明ビッグサイト
16:30	移動）有明⇒ホテル	*45分程度*
18:00	夕食）京都　瓢喜　赤坂店	03-6277-6270
	宿泊）赤坂エクセルホテル東急	03-3580-2311
10月7日（金）		
9:30	出発）ホテルチェックアウト	
	移動）ホテル⇒新橋	*10分程度*
10:00	視察）とっとり・おかやま新橋館	
	移動）新橋⇒日比谷	*10分程度*
11:00	視察）日比谷しまね館	
	移動）日比谷⇒羽田空港	*50分程度*
12:30	昼食）羽田空港	
14:10	空路）羽田空港⇒出雲空港（15：35着）	

令和４年　７　月　６　日

出雲市議会議長　様

会　派　名　真誠クラブ

代表者氏名　川上幸博

（署名又は記名押印）

視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

１．日　　程	令和４年６月30日　～　令和４年７月１日　（　２　日間）	
２．視察研修先 視察研修目的	６月30日 ７月　１日 東京ビッグサイト	出雲発16:20→羽田着17:50　ホテル泊 DX推進のための研修として参加 「自治体DX展」
３．参　加　者	寺本淳一、板垣成二、高橋扶治夫 計　３　名	
４．添付書類	１．報告書	

出雲市議会
04.7.-6
第169号
受付

所感

今後、出雲市は「デジタルファーストの推進」について、行政はもとより、経済界も含めた本市全体のDXに関する意識の底上げを目指し、市民サービスの向上と産業・観光振興を図り、誰もがデジタル技術を容易に利用でき、享受できる環境づくりに取り組んでいくとしている。よってこの実現のために今何をすべきか探るため、この「自治体 DX 展」を視察した。会場である東京ビッグサイトでは、自治体のDX推進に不可欠と思われるサービスが満載の展示会であったが、特に目を引いた内容を何点か報告しておく。

一点目は、凸版印刷の行政事務代行BPOである。トッパンでは、住民からの申請受付や定型的な行政事務のトータルでの支援や、庁舎内での窓口業務に対してタブレットでの申請受付や申請書類の OCR 作業などデジタル化のトータルでの支援が可能であることが特筆すべき内容である。札幌市が事例となっている。

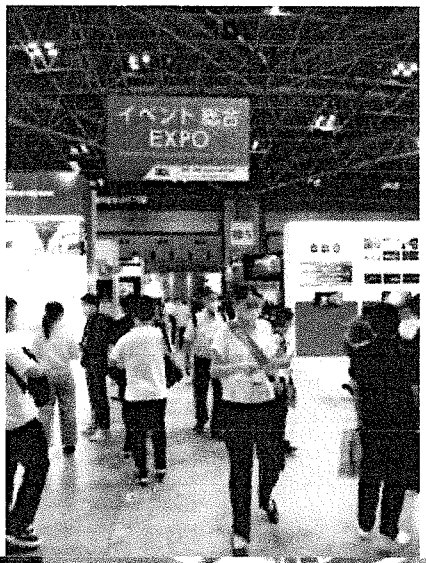
二点目は、地域独自のPayサービスでキャッスシュレス化とデジタル化の同時促進が可能な「地域 Pay」は、現実的であり関心をもって聞くことができた。住民である利用者は、カードやスマホで QR コードを提示しお店の人が読み取る方式と、お店に設置された QR コードを利用者のスマホで読み取る方式の両方利用可能であり、商品券やお買い物ポイント等を「地域 Pay」一つでまとめて運用できるメリットは大きいと感じた。

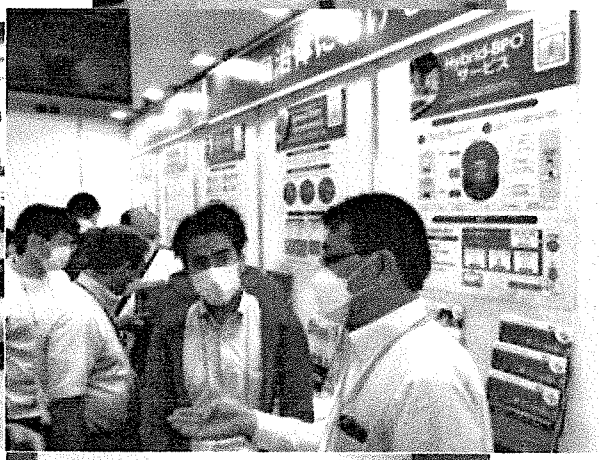
三点目は、ログミーツのボタン一つで楽々と議事録を作成できるシステムである。議事録の作成は、完成まで文字起こしに時間を取られ、期間が開いてしまうという欠点をこれで解消できるものである。議会・講演・タウンミーティング等さまざまな利用機会があるシステムだと思った。

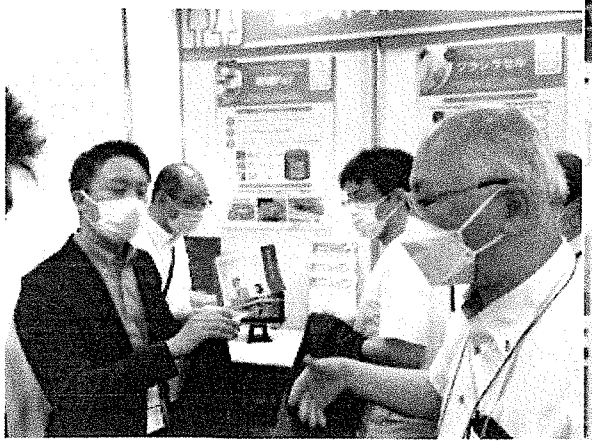
四点目は、バッファローの観光や地域を活性化するインフラ整備としての、選ばれるまちづくりとしての Wi−fi 環境整備である。通信料を気にせず手軽に利用できる Wi−fi 環境は、多くの旅行者が望む条件であり、観光庁でもインバウンド需要への課題解決の一つに「無料 Wi−fi 環境」の整備があげられている。災害時の通信手段としても利用でき、防災にも役立つインフラとして活用できる。また新しいライフスタイルとして注目される「ワーケーション」。出雲市としても、普段と異なる場所で働きながら休暇を取る新しい働き方に対応することで、業務に支障が出ない高速で安定した Wi−fi 環境が不可欠であると感じた。

会場において「地方創生 EXPO」「イベント総合 EXPO」「ライブ・エンターテイメント EXPO」が同時開催されていたので、その他多くの内容にも触れることができた。「自治体DX展」は東6ホールだったが、東5ホール、東4ホールと展示会場が繋がっており、余りにも広過ぎて出展者も多く、1日で見て歩けるものではなかったのは残念だった。しかし、出雲市のデジタル化に向けた取り組みに必要なものが数多くあることを実感でき、今回の視察は大変意義があり大きな収穫であったと思う。

出口
入口


EXPO





DXで
サービス
向上、
防災にも!
Wi-Fiで
市民サービス向上・
職員の業務改善を
実現。

令和4年6月24日

出雲市議会議長　様

会　派　名　真誠クラブ

代表者氏名　川上幸博　印

視察研修について(届)

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1. 日　　程		令和4年6月30日～7月1日	
2. 視察研修先 視察研修目的		東京ビッグサイト	自治体DX展(DX推進のヒントが見つかる展示会)
3.	参　加　者	板垣成二　寺本淳一　高橋扶治夫 計　3名	
4.	添　付　書　類	1. 行程表	

出雲市議会
04.6.24
第102号
受付

視察工程表

6月30日（木）		備考
16:20	出発 出雲縁結び空港	
17:50	羽田空港到着	
	ホテル宿泊	
7月1日（金）		**備考**
9:00	ホテル出発	
10:00	東京ビッグサイト着	トッパン印刷担当者合流
	自治体DX展見学、研修	昼食含む
16:55	羽田空港発	
18:15	出雲縁結び空港着　解散	

令和４年５月２４日

出雲市議会議長　様

会　派　名　真誠クラブ

代表者氏名　川上　幸博

視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

１．日　　程	令和４年５月１６日　～　令和４年５月１８日（３日間）	
２．視察研修先 視察研修目的	５月１６日 ① 参議院議員会館	以下の項目について、研修を受けるため ① テーマ『国のエネルギー政策について』
	５月１７日 ①総務省 ② 参議院議員会館	①テーマ『デジタル田園都市国家構想について』並びに『行政評価について』 ②テーマ『農村地域づくり事業体（農村RMO）について』
	５月１８日 ①衆議院第２議員会館・参議院議員会館	①地元選出国会議員へ要望活動を行う。
３．参　加　者	川上　幸博、萬代　輝正、板垣　成二、伊藤　繁満、寺本　淳一、児玉　俊雄、今岡　真治、高橋　扶治夫、福田　実 計　９名	
４．添付書類	１．行程表 ２．報告書	

出雲市議会 04.5.24 第77号 受付

真誠クラブ視察研修日程表

5月16日（月）		備考
8:50	集合）出雲空港国内線カウンター前	
9:25	空路）出雲空港⇒羽田空港（10:45着）	JAL278便
	羽田空港着　着後、モノレールで都内へ移動	
	昼食休憩（浜松町駅）	
14:00	★【経済産業省研修】	参議院議員会館　B108会議室
～	「テーマ：エネルギー政策について」	
	（国のエネルギー政策・原発・電力地産地消など）	
15:30	講師：経済産業省資源エネルギー庁	
	移動（徒歩）	
16:00	★衆議院議長公邸　訪問（40～50分予定）	
7:00	宿泊）赤坂エクセルホテル東急	東京都千代田区永田町2-14-3 TEL：03-3580-2311

5月17日（火）		備考
9:00	出発）ホテル	
9:30	★三浦総務大臣政務官室　見学	
10:00	★【総務省研修】	総務省　　会議室
	「テーマ1：デジタル田園都市国家構想について」	※三浦先生は日帰りで島根で公務予定
～	講師：総務省	国会日程が入れば在京予定
	「テーマ2：行政評価について」	
12:00	講師：総務省	
	参議院議員会館へ移動・昼食休憩	
13:30	★【農水省研修】	参議院議員会館　B108会議室
～	「テーマ：農村地域づくり事業体（農村RMO）について」	
15:30	講師：農村振興局地域振興課　神谷英生課長補佐	藤河元副市長　同席予定
17:30	宿泊）赤坂エクセルホテル東急	TEL：03-3580-2311

5月18日（水）		備考
9:00	出発）ホテルチェックアウト	
9:30	★【要望活動】	衆議院第2議員会館：
～	地元選出国会議員事務所	細田513　高見520　高階1208
11:30	（細田・青木・舞立・三浦・高見・高階事務所6か所）	参議院議員会館：
		青木814　舞立603　三浦811
	移動	
12:30	羽田空港着　昼食休憩	
14:15	空路）羽田空港⇒出雲空港（15:40着）	JAL283便

（所　感）

①　【経済産業省研修】　　☆テーマ『国のエネルギー政策について』

国のエネルギー政策について、経済産業省　原子力立地政策室長　前田　博貴　様と原子力立地政策室　企画官　和田　啓之　様より説明を受けた。

現在の国際情勢（特にウクライナ）で燃料が国内に入ってこない状況、燃料代の高騰についての説明や、それに伴う原子力に対する世の中の捉え方の変化についてもふれて頂きながら、基本的視点・エネルギー基本計画の概要・原子力政策・再生可能エネルギーについて詳細な説明を頂いた。

エネルギー政策の基本的視点の説明では、安全性を最重要・大前提とした上で、①安定供給を第一として、②経済効率と③環境適合の両立を図る方針であるとのことであった。

エネルギー基本計画の概要については、エネルギー基本計画の全体像として2050年カーボンニュートラル実現に向けた課題と対応のポイントを説明頂いた。

原子力政策については、海外の情勢、国内原子力発電所の現状、核燃料サイクル、最終処分、理解活動の取組を詳細に説明頂いた。

再生可能エネルギーについて、太陽光発電・風力発電・水力発電・地熱発電・バイオマス発電について、それぞれの概要や強みと課題を説明頂き、新たな「エネルギーミックス」実現へ向けての状況、再エネの現状、地域における取組や支援制度の説明を頂いた。

出雲市の再エネの取組や脱炭素の取組を踏まえ、再エネの発電コストが今後どうなっていくのかといったことや電気価格の今後の見込み、浜田市沖の天然ガスの見込みや現状、太陽光パネルの耐用年数が過ぎてからの廃棄についての不安など意見交換をさせて頂いた。また、原発の安全性確保や災害に対する考えについても確認させて頂いた。

そして、水素と木質バイオマスをエネルーギー源として位置付けての政策展開について

や可能性についてもご教示頂いた。
今回の視察で、国のエネルギー政策の考え方を確認させて頂いただき、理解を深めることができた。また、出雲市が進めるゼロカーボンシティに向けて再生可能エネルギーの地産地消の更なる推進であったり、他地域の取組を参考にしながら導入可能な再生可能エネルギーの利活用を検討し、国のエネルギー構造高度化にしっかりと対応できるよう取組必要があると感じた。
②　【総務省研修】　　☆テーマ『デジタル田園都市国家構想について』
デジタル田園都市国家構想と総務省の取組について、総務省大臣官房企画課　伊藤課長より説明を受けた。
デジタル田園都市国家構想とは、デジタルの技術が近年急速に高まり、距離のハンデなどをデジタルの力で克服し、デジタルという手段をきちんと用いながら地域活性化を行っていこうと言うことであるとの事でした。デジタルの実装により、地域の課題解決・魅力向上の取組を、より高度・効率的に推進することにより、地方の活性化・地方からのボトムアップの成長を目指すことにあります。
具体的な取組については、「デジタル基盤の整備」「デジタル人材の育成・確保」「地域課題を解決するためのデジタル実装」の大きく 3 点について、総務省として進めているとの説明があり、それぞれについて詳細な説明と具体的施策を紹介して頂いた。また、課題解決型ローカル 5G 等の実現に向けた開発実証の事例や交付金・人材派遣制度の紹介もしていただきました。
国のデジタル化の流れ、社会の変化に対応し、出雲市でも都市の資源・情報が活用して、多様な働き方や質の高い生活が実現できるように取組む必要があると感じた。
③　【総務省研修】　　☆テーマ『行政評価について』

政策評価の取組について、総務省行政評価局総務課　川瀬課長補佐より説明を受けた。
行政評価局では、国民に信頼される質の高い行政を実現するために「行政評価調査」
「政策評価の推進」「行政相談」に関する業務を実施しておられ、内容について説明を頂
いた。
「行政評価調査」では、各府省の業務の現場における実施状況を実地に調査し、各府省
の課題や問題点を実証的に把握・分析し、行政運営の改善方策を提示されている。
「政策評価の推進」では、効果的かつ効率的な行政の推進と、政府の諸活動についての
国民への説明責任の徹底を目的に、EBPM（エビデンスに基づく政策立案）の推進をさ
れている。
「行政相談」では、「国の行政に対する苦情や意見があっても、どこに相談してよいか分
からない。」「担当の役所に相談したが、相手の説明や対応に納得がいかない。」そのよう
損な場合に、解決のお手伝いをされている。
今回の視察では、特に「政策評価・EBPM の取組」について詳しく説明頂いた。
導入のきっかけとなった、「効果的かつ効率的な行政の推進」「政府の諸活動について
の国民への説明責任の徹底」といった目的や政策効果の把握・分析、政策の見直し・改
善の視点は、市議会議員の立場でも非常に重要であると感じた。そして、EBPM の推進
を行い、政策の「必要性」「効率性」「有効性」をしっかり分析し、いかに政策立案を良く
するか、政策のマネジメント・サイクルの中で、議員の目でしっかりと確認していく必
要があると感じました。
④　【農林水産省研修】　　☆テーマ『農村地域づくり事業体（農村 RMO）について』
農村型地域運営組織（農村 RMO）の形成について、農林水産省農村振興局地域振興課
神谷課長補佐より説明を受け、また意見交換をさせて頂いた。
農水省は中山間地域で農用地保全や地域資源活用、住民の生活支援などを担う「農村
型地域運営組織（農村 RMO）」の形成を支援している。

農村RMOは、集落営農組織や農業法人など農業者を主体とした組織と、自治会、社会福祉協議会など多様な地域の関係者とが連携し協議会を設立し、資源管理・生活扶助・生産補完・農業振興などに取組むことで、地域コミュニティの機能を維持・強化することを想定されている。そして、農村RMOは人口減少などで弱体化する集落機能を補完する役割を担うものとの説明だった。

農水省では「農村RMO形成推進事業」で、地域協議会などが作成する将来ビジョンに基づく農用地保全、地域資源活用、生活支援にかかる調査、計画作成、実証事業等の取組を支援し、協議会などが3年以内に自立して農村RMOを運営できるように費用を定額で助成するとの事だった。また、協議会を後押しする中間支援組織の育成にも力を入れ、協議会向けに行う研修会や先進地視察などの支援を行うとのことだった。

農村RMO形成推進にあたって、利活用が想定される各府省所管の各種制度の紹介も受けた。

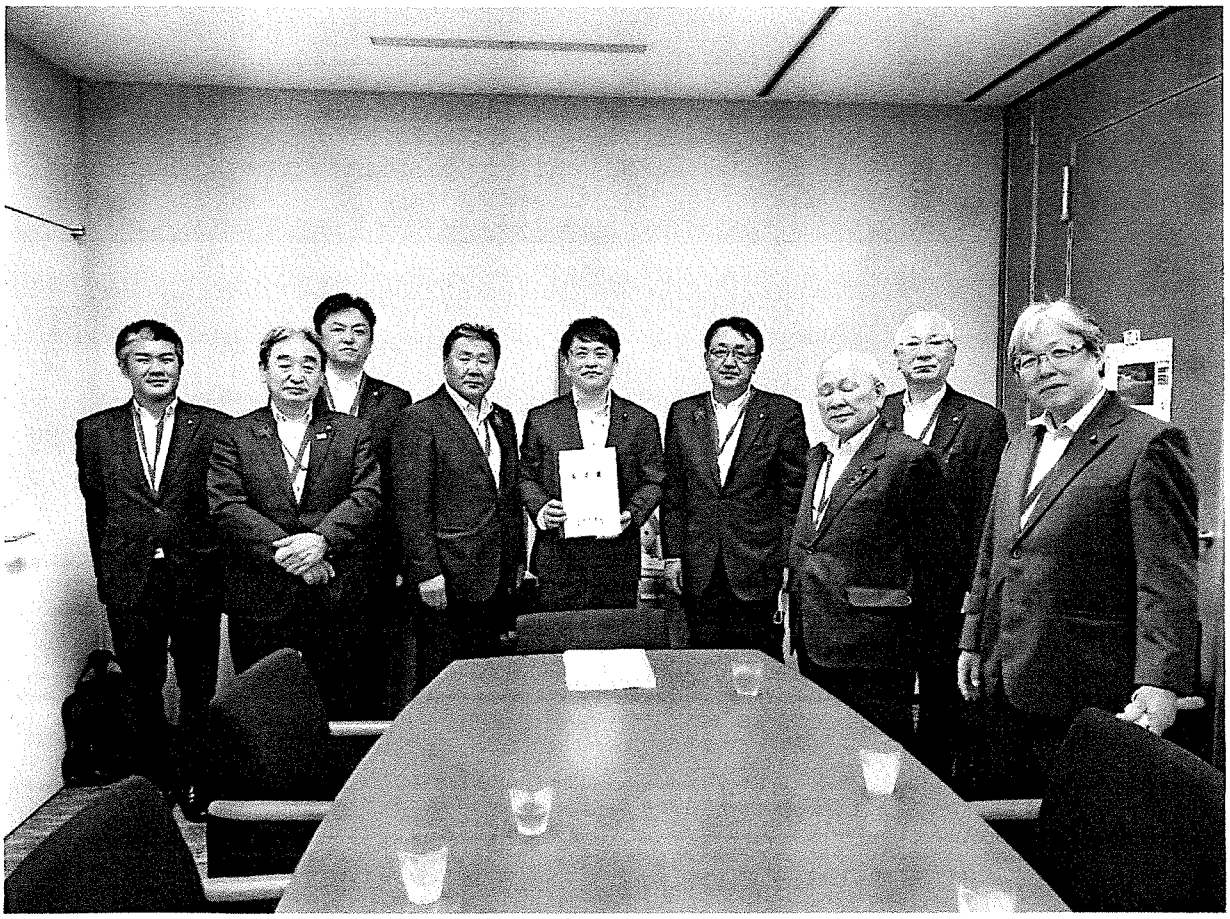
出雲市でも中山間地域においては農村RMOの形成の必要があると強く感じる。そして、農村RMOを効果的に形成するためには、知識のある事務局が必要であると感じた。農村RMOの事例の調査・研究や農村RMOの形成の伴走を実践し、ノウハウの普及が行える支援体制の構築が必要であると感じた。

⑤ 【要望活動】

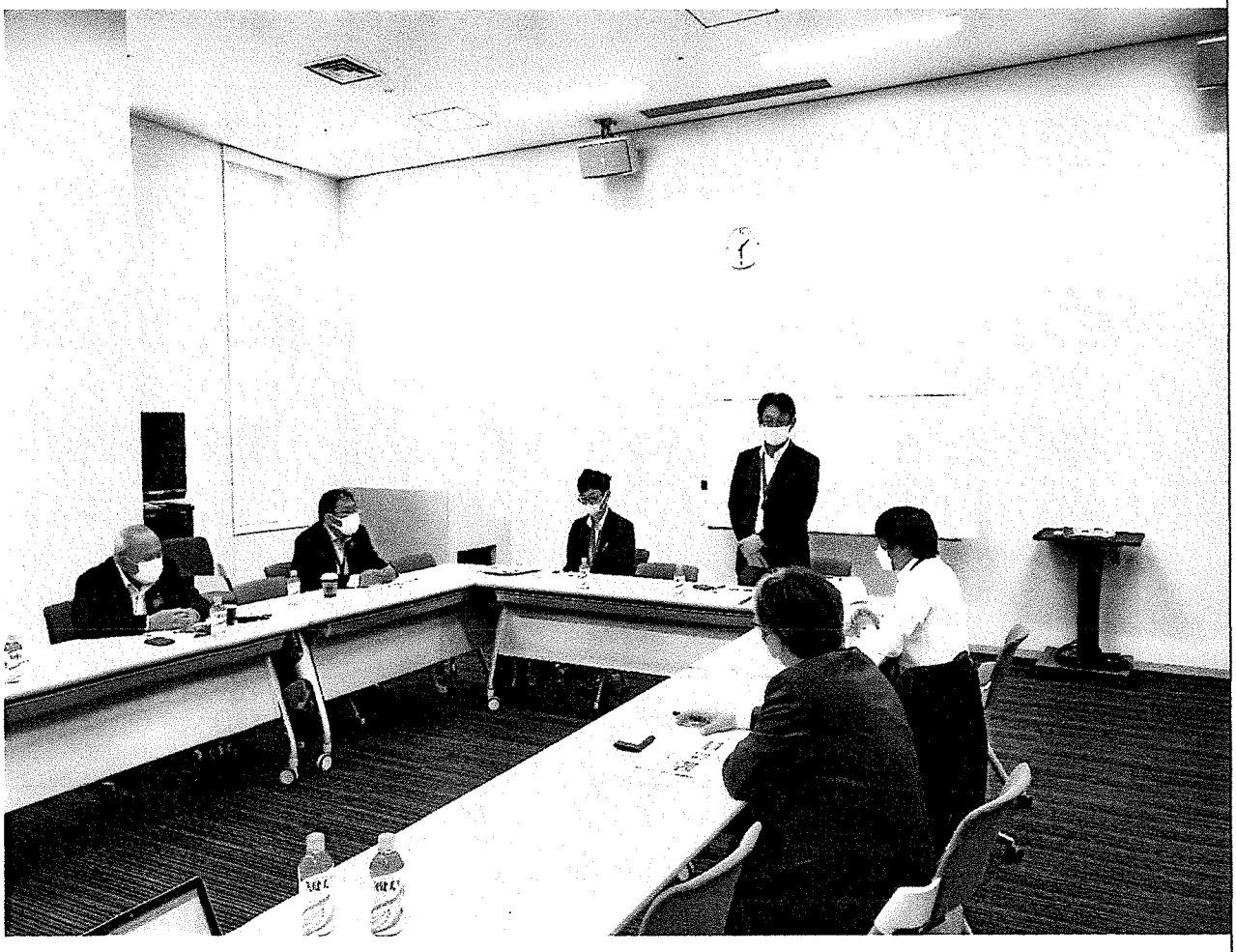
細田博之衆議院議員、青木一彦参議院議員、高階恵美子衆議院議員、三浦靖参議院議員、舞立昇治参議院議員、高見康裕衆議院議員の6名の国会議員事務所へ伺い、12項目について要望活動を行った。

《要望事項》

1.過疎地域の持続的発展の支援に関する特別措置法に係る過疎対策事業債の必要額確保について　2.地方創生の実現について　3.路線バス、タクシー事業者に対する支援について　4.陸上自衛隊出雲駐屯地の拡充、機能強化について　5.医療的ケア児の支援につい

て　6.海岸漂着及び漂流ごみ対策について　7.トキ分散飼育事業及びトキの野生復帰に
対する支援について　8.一級河川直轄事業の推進について　9.高規格道路「境港出雲道
路」の早期整備について　10.山陰道及び国道９号出雲バイパスの整備促進について
11.自治体病院に関する要望（全国自治体病院経営都市議会協議会）
12.高速道路建設・整備促進等に関する決議（全国高速自動車道市議会協議会）
三浦靖衆議院議員は本人へ、その他は秘書へ要望書を手渡した。

※三浦衆議院議員への要望の様子

※総務省での研修風景



※農水省の研修風景

令和　4年5月9日

出雲市議会議長　様

会　派　名　真誠クラブ

代表者氏名　川上　幸博

視察研修について（届）

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

1．日　　程	令和4年5月16日　～　令和4年5月18日（3日間）	
2．視察研修先及び視察研修目的	5月16日 ①参議院議員会館	以下の項目について、研修を受けるため ①テーマ『国のエネルギー政策について』
	5月17日 ①総務省 ②参議院議員会館	①テーマ『デジタル田園都市国家構想について』並びに『行政評価について』 ②テーマ『農村地域づくり事業体（農村RMO）について』
	5月18日 ①衆議院第2議員会館・参議院議員会館	①地元選出国会議員へ要望活動を行う。
3．参加者	川上　幸博、萬代　輝正、板垣　成二、伊藤　繁満、寺本　淳一、児玉　俊雄、今岡　真治、高橋　扶治夫、福田　実 計　9名	
4．添付書類	行程表（別紙）	

出雲市議会
4.5.09
受付

真誠クラブ視察研修日程表

5月16日（月）		備考
8:50	集合）出雲空港国内線カウンター前	
9:25	空路）出雲空港⇒羽田空港（10:45着）	JAL278便
	羽田空港着　着後、モノレールで都内へ移動	
	昼食休憩（浜松町駅）	
14:00	★【経済産業省研修】	参議院議員会館　B108会議室
～	「テーマ：エネルギー政策について」	
	（国のエネルギー政策・原発・電力地産地消など）	
15:30	講師：経済産業省資源エネルギー庁	
	移動（徒歩）	
16:00	★衆議院議長公邸　訪問（40～50分予定）	
17:00	宿泊）赤坂エクセルホテル東急	東京都千代田区永田町2-14-3 TEL：03-3580-2311

5月17日（火）		備考
9:00	出発）ホテル	
9:30	★【面会】三浦総務大臣政務官	
10:00	★【総務省研修】	総務省　　会議室
	「テーマ1：デジタル田園都市国家構想について」	※三浦先生は日帰りで島根で公務予定
～	講師：総務省	国会日程が入れば在京予定
	「テーマ2：行政評価について」	
12:00	講師：総務省	
	参議院議員会館へ移動・昼食休憩	
13:30	★【農水省研修】	参議院議員会館　B108会議室
～	「テーマ：農村地域づくり事業体（農村RMO）について」	
15:30	講師：農村振興局地域振興課　神谷英生課長補佐	藤河元副市長　同席予定
17:30	宿泊）赤坂エクセルホテル東急	TEL：03-3580-2311

5月18日（水）		備考
9:00	出発）ホテルチェックアウト	
9:30	★【要望活動】	衆議院第2議員会館：
～	地元選出国会議員事務所	細田513　高見520　高階1208
11:30	（細田・青木・舞立・三浦・高見・高階事務所6か所）	参議院議員会館： 青木814　舞立603　三浦811
	移動	
12:30	羽田空港着　昼食休憩	
14:15	空路）羽田空港⇒出雲空港（15:40着）	JAL283便

令和４年５月２日

出雲市議会議長　様

会　派　名　真誠クラブ

代表者氏名　川上幸博

（署名又は記名押印）

視察研修について（報告）

このことについて、下記により実施いたしましたので、関係書類を添えて報告します。

１．日　　程	令和４年４月１６日　～令和４年４月１７日（２日間）	
２．視察研修先 視察研修目的	ＪＲ博多シティ９階会議室	「持続可能な地域の住環境づくりとは」 ①賃貸住宅がもたらす新たな持続可能な暮らし ②人生100年時代・誰一人取り残さない社会
３．参　加　者	萬代輝正　寺本淳一　児玉俊雄 計　３名	
４．添付書類	１．行程表 ２．報告書 ３．	

出雲市議会
04.5.-2
第 68 号
受付

（所　感）この研修は住宅の断熱、調湿、防音等による二酸化炭素の排出を抑えていくと同時に人口減少や高齢化にどう対策していくかの研修です。

ウェルネストホーム代表取締役社長の芝山さゆり氏の講演で、周辺がきれいな４００年前の建物が残るドイツのフロイデンベルグ村を紹介された。この村は教育費が無料、歯の予防治療も無料、再生エネルギーにも力を入れ住宅のエネルギーパスを示すなど官民一体となって環境や高齢者、子育てにやさしいまちづくりを進めている。

日本で住宅の省エネルギー化を進めると二酸化炭素の排出を 1/2～1/3 削減でき、快適で経済的にも優しく、１００年住める家となり、空き家対策にもなるので官民が協力すれば実現可能だが日本ではできていないとのこと。同感です。

原因は日本の教育はインプットが８０％を占め残りがアウトプット。しかし社会においては逆であり、その影響で仕事や事業ができないことが多い。知識を詰め込むことより様々な経験をより多く積み、やることやらないことを自分で判断し行動をしていくことが重要であると、官民互いが良きパートナーとしてリスペクトできないと何も変わらない。

次に創業者の早田宏徳氏からニセコの町をモデルにしたまちづくりについて説明を受けた。「コンパクトなまちづくり」「高性能集合住宅」「ＣＯ２削減」を柱に進めている。

①高齢化が進む地域に必要な施設や自然を集中させ、住みやすさを目指すことで若者も集まる。②高性能集合住宅にすることで一人当たりの床面積が２０％～３０％縮小でき、土地確保による住宅不足の解消。また省エネ等級の最高値を目指すことで１棟をエアコン１台で済まし経済負担を軽減して厳しい冬を快適に過ごす。③ＣＯ２を５４％削減、将来は８６％を目指す。など官民一丸となって高齢化、人口減少や住環境の課題解決を強く進められていくとの説明であった。

全体のプランは出来上がっているようで、今後は住民としっかり協議していかれるようです。高性能住宅は気密性が高いので「換気」が重要となるが、その対策も充分であることがうかがえた。メリット、デメリットを比較すればメリットがはるかに大きいように思っているので、出雲市も未来の有効な投資として進めるべきと考える。次はニセコで現地を視察したいと思いました。

令和４年　４月　７日

出雲市議会議長　様

会　派　名　真誠クラブ

代表者氏名　川上　幸博

（署名又は記名押印）

視察研修について（届）

このことについて、下記により実施いたしますので、関係書類を添えて届けます。

１．日　　程	令和４年　４月１６日　～　令和４年　４月１７日（２日間）	
２．視察研修先及び視察研修目的	福岡県福岡市	「持続可能な地域の住環境づくりとは」 賃貸住宅がもたらす新たな持続可能な暮らし 人生１００年時代・誰ひとり取り残さない社会
３．参加者	萬代　輝正、寺本　淳一、児玉　俊雄 計　３　名	
４．添付書類	行程表（別紙）	

出雲市議会
04.4.-7
第14号
受付

真誠クラブ視察日程表

①４月１６日(土)　集合：１０時２０分

10:20　出雲空港国内線カウンター前集合
11:00　出雲空港発　JAL３５５０便にて、福岡空港へ
12:10　福岡空港着　着後、タクシー又は地下鉄にて研修会場へ
12:40～13:10　昼食休憩
13:20～13:30　研修受付
13:30～17:00　★ＪＲ博多シティ９階会議室（１）

「持続可能な地域の住環境づくりとは」
① 賃貸住宅がもたらす新たな持続可能な暮らし
- 大家さんにとって資産価値の永く続く賃貸住宅
- 賃貸人にとって健康で快適な暮らし

講師　：　WELLNEST　HOME　創業者　早田　宏徳氏

② 人生１００年時代・誰ひとり取り残さない社会
- 住環境とココロとカラダの健康の関係性
- 戸建てから集合住宅　集合住宅から街づくりへ

講師　：　WELLNEST　HOME　社　長　芝山さゆり氏

17:30　ホテル着　西鉄ホテルクルーム博多　泊

②４月１７日（日）

06:00　ホテルチェックアウト後、福岡空港へ
06:30　福岡空港着　搭乗手続き後、待合室へ
07:15　福岡空港発　JAL３５５１便にて出雲空港へ
08:20　出雲空港着　お疲れ様でした

※参加者：萬代議員、寺本議員、児玉議員、３名